

<報道発表資料>

(府 同 時)

令和7年10月17日

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課

「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」に合わせた 各施設のブルーライトアップの実施及び ダイアベティス対策講座の開催

京都市では、市民の皆様に糖尿病への正しい理解を呼びかけるため、国連の定める11月14日の「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」に合わせて、各施設をシンボルカラーであるブルーにライトアップします。

【ブルーライトアップ】

- 点灯日時 令和7年11月14日（金）午後6時～10時
※ 施設により点灯時間が前後することがあります。
- 点灯場所 京都市役所本庁舎、京都市京セラ美術館、伏見桃山城 ほか



京都市京セラ美術館



伏見桃山城

(参考：他のライトアップ実施施設)

点灯場所	点灯時間（予定）
京都府庁旧本館	午後6時～10時
京都済生会病院	
京都府中丹東保健所	
亀岡市立病院	日没後～翌朝5時45分
医療法人清仁会 亀岡シミズ病院	午後5時～午前0時
亀岡保津大橋	午後5時～10時
JR八木駅	午後6時～8時
福知山城	日没後～午後10時
綾部市立病院	午後5時～7時

※ チラシに掲載の「五老スカイタワー」は調整中、「亀岡運動公園噴水（テニスコート側）」は施設の事情により点灯が中止となりました。



京都市
CITY OF KYOTO

【ダイアベティス（糖尿病）対策講座】

- 日 時 令和7年11月9日（日） 午後2時～4時
- 場 所 京都府医師会館310会議室（オンライン併用）
（〒604-8585 京都市中京区西ノ京東柊尾町6）
- 参加費 無料
- 内 容 テー マ 『ダイアベティス（糖尿病）を正しく知って、健康長寿を手に入れよう！』
基調講演『お口の機能の衰え（オーラルフレイル）に気づいていますか？』
京都府立医科大学大学院 地域保健医療疫学 歯科医師 松井 大輔氏
『フレイル・サルコペニア予防と運動について』
洛和会丸太町病院 リハビリテーション部 理学療法士 橋本 剛生氏
特別講演『「糖尿病のない世界」が来る日まで』
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 糖尿病研究センター長
植木 浩二郎氏

各種相談・検査コーナー（午後1時～2時）

- < 検査 > ①血糖検査 ②血管年齢検査 ③尿検査
- < 相談 > ①栄養 ②歯とお口 ③お薬

- 申 込 10月28日（火）までに、京都府医師会の特設ウェブページからお申込み
（<https://www.kyoto.med.or.jp/citizen/diabetic>）



※FAXでお申込みの場合は、氏名（フリガナ）、参加方法、相談・検査希望の有無、住所、電話番号、メールアドレスを記載のうえ、京都府医師会事務局のFAX（075-464-3923）へご送付ください。

<お問合せ先>

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課

電話：075-222-3419

World Diabetes Day（世界糖尿病デー）とは

世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために、2006年12月20日、国連は国連総会議で、国際糖尿病連合（IDF）が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決し、同時に、IDF及び世界保健機関（WHO）が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。

令和6年度からは、糖尿病アドボカシー活動の一環として、世界糖尿病デーの表記をWorld Diabetes Day（WDD）と改めることとなりました。

WDDのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられますが、これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes」（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンが推進されています。